

◇第 68 回三大学対校陸上競技大会(旧三商大戦)◇

2018 年 7 月 21 日(土) 於 服部緑地公園陸上競技場

【総合成績】

	1位 大阪市大	2位 神戸大	3位 一橋大
総合得点	67.5点	62.5点	49点
トラック	41点	24点	24点
フィールド	26.5点	38.5点	25点

各種目 1 位 5 点～5 位 1 点、大会新記録 5 点加算
リレーは 1 位 6 点、2 位 3 点、3 位 0 点

【対校の部】



種目名	1位	2位	3位	4位	5位	6位
100m (-1.0)	浅沼 優斗(3)大 10"78	小林 大航(2)大 10"81	小口 智毅(4)一 10"87	宮本 浩翼(1)大 10"94	近藤 佑哉(4)神 10"98	喜多 政天(2)神 11"01
400m	松本 倫太郎(3)大 48"41	高柳 正徳(3)神 48"87	徳田 和優(3)大 49"91	南部 慎(3)神 50"21	松原 息吹(3)一 50"54	斎藤 広武(3)一 51"25
1500m	矢守 志穂(3)大 4'05"71	大倉 和樹(3)一 4'08"13	福宮 瓜人(2)大 4'10"78	郷原 一真(2)神 4'13"45	高島 良平(3)一 4'16"12	湯浅 賢(2)神 4'30"84
5000m	高島 良平(3)一 16'11"10	平井 大誠(3)神 16'11"38	桂 翔太(4)神 16'23"77	山口 雄大(3)一 16'29"02	平松 晃輝(2)大 17'13"85	伏本カーデン(3)大 DNF
110mH (+0.9)	福田 将太(2)大 14"95	山口 大地(3)神 15"24	佐藤 勇介(2)一 15"53	徳田 和優(3)大 15"72	花崎 仁実(2)神 16"13	池野 和(3)一 16"27
4×200mR	1位 大阪市立大学 大村 隆人(3) 小林 大航(2)	1'25"46NGR 松本 倫太郎(3) 小田原 陣(1)	2位 神戸大学 喜多 政天(2) 高柳 正徳(3)	1'27"12 近藤 佑哉(4) 野崎 佑一(2)	3位 一橋大学 浅沼 優斗(3) 朝田 航平(2)	1'27"16 恒松 玲央(3) 小口 智毅(4)
走高跳	小西 満(3)神 1m93	阿保 朗楽(3)一 1m85	中山 直史(4)一 1m80	鳥海 直人(3)大 1m80	金澤 佳緯(3)神 1m80	源 識之相(2)大 1m70
棒高跳	金澤 佳緯(3)神 3m70	中山 直史(4)一 3m60	池野 和(3)一 3m00	西田 浩太郎(2)神 2m40(同率)	大村 隆人(3)大 2m40(同率)	小谷 圭亮(1)大 2m10
走幅跳	高松 稜(1)神 7m12(+0.5)	安達 智則(2)大 6m89(0.0)	阿保 朗楽(3)一 6m88(-1.0)	鳥海 直人(3)大 6m56(-0.4)	金澤 佳緯(3)神 6m37(-0.5)	小口 智毅(4)一 6m20(-0.6)
砲丸投	藤林 良太(2)大 12m64	太田 康介(4)神 11m53	西村 拓海(4)神 11m50	奥井 優介(1)大 10m73	佐藤 勇介(2)一 9m89	田中 佑資(2)一 8m94
円盤投	高畑 大地(2)神 35m88	藤林 良太(2)大 34m93	太田 康介(4)神 33m82	中嶋 義貴(4)大 29m46	佐藤 勇介(2)一 24m12	阿保 朗楽(3)一 23m79
やり投	田中 佑資(2)一 58m45	奥井 優介(1)大 53m68	西村 拓海(4)神 50m27	太田 康介(4)神 48m96	辻 智史(1)一 46m70	藤林 良太(2)大 45m64

主将 神田 実(3)

優勝し、昨年のリベンジを果たすことを目標に掲げ、三商戦に臨みましたが、結果としては大阪市立大学に2年連続優勝を譲ることとなりました。

悔しい結果ではありますが、これが現時点での実力であることは認めざるを得ません。現状を受け止めた上で新たな目標を段階的に設定し、着実に力をつけられるよう、チーム一同より一層努力に励んで参ります。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

【優勝者より】

小西 満(3) 走高跳

3年目にして優勝できたことに喜びを感じています。2年間自分の思うように跳べなかったことが心残りだったのでよかったです。今シーズンまだまだ頑張っていきたいと思います。

高畑 大地(2) 円盤投

目標としていた優勝ができてよかったです。しかし記録は全く満足のいくものではなかったのさらに練習を積みたいと思います。来年も期待してください。



小西 満(3) 走高跳 1m93 自己新



高畑大地(2) 円盤投 35m88

金澤佳緯(3) 棒高跳

暑い中、3種目目の跳躍で疲労も溜まっていたですが、多くの方からいただいたアドバイスを元に自分の理想



金澤佳緯(3) 棒高跳 3m70 自己新

の跳躍に近い跳躍ができたと思います。2位の方とは実力も近く、なるべく早い本数での成功が求められる中、3m70を1本目から超えられたのは試合を楽しんでいたのと、応援が盛り上げてくれたおかげだと思います。そして、結果的に跳躍3種目を全て神大が制覇でき、本当に嬉しく思います。この経験を元に今後も精進します。

高松 稜(1) 走幅跳

怪我で練習不足の初試合で色々不安もありましたが調整が上手く行って優勝することが出来ました。本番までずっと跳べなかったのでイメージを固め、そして課題の挟み込みを集中的に1週間で詰め込みました。まだまだ上を目指せると思うので、来年は大会新で優勝したいと思います。応援ありがとうございました。



高松 稜(1) 走幅跳 7m12(+0.5) 大学初

【OB対校4×100m リレー】

順位	所属	(オーダー)	記録
1位	神戸大学	(前川文紀・山本了弘・田代雅彦・今給黎哲生)	54"36
2位	一橋大学	(土屋克則・日渡 淳・船井康文・浜田健一郎)	57"76
3位	大阪市立大学	(榮山剛史・中井秀昭・平山文夫・田中弘明)	1'01"59
オープン	神戸大学	(中嶋 周・森島茂夫・上島啓之・椎木茂久)	58"70

- 【出場規約】**
- ・登録競技者であること
 - ・合計年令が200才以上であること
 - ・最低年齢が35才以上であること

37°Cはあろうかという炎天下、神戸チームはメンバーの大半が100mオープンに出場し2時間弱の間をおいてこの日2本目の100m。しかし、1走前川さんのダントツの走りでの貯金を山本、田代、今給黎各氏が守り切り大差を付けて危なげなく完勝。レース後は各チームのメンバーが互いの健闘をたたえ合い来年の再会を誓い合いました。

◆来年度の開催地について◆

来年は大阪市立大学が主管校の予定ですが、再来年の東京オリンピックを避けるため来年は一橋大学を主管校に東京での開催を検討中です。



**応援に駆けつけていただきましたOB・OGの皆さま
ご声援ありがとうございました！！(敬称略)**

- | | | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|----------|----------|
| 丹羽 徹(11) | 依田泰吉(17) | 椎木茂久(17) | 平田明男(18) | 大西秀典(21) | 絹田清昭(21) |
| 筒井博司(21) | 仲田卓史(23) | 保尾福三(23) | 今給黎哲生(24) | 中嶋 周(24) | 湯本欣延(25) |
| 田代雅彦(27) | 森島茂夫(27) | 矢野 猛(27) | 山本達男(30) | 野田俊弘(34) | 片山浩一(35) |
| 宮本勝巳(36) | 山本了弘(36) | 前川文紀(51) | 上島啓之(52) | 永田 遼(65) | 坂元亮介(66) |

第 68 回三大学対校陸上競技大会（旧三商大戦）観戦記

新 18 回 平田明男

今年の旧三商大戦は平成に入って恐らく初めて服部緑地で開催された。総合成績は大変残念なことに昨年と同じパターンで最終種目の 4X200mR で大市大が大会新記録で優勝し、逆転優勝。しかし、劣勢が予想されるなかよく善戦した大会だと思う。各大学とも 1、2 年生の台頭が著しくしばらくは接戦が続くと思われる。来年の雪辱を期待している。

ートラックの部ー

110mH：昨年ワンツーフイニッシュし勢いをつけた第 1 種目。3 年山口君がよく粘って 2 位に食い込み、2 年花崎君が 5 位。山口君には年内には 14 秒台突入を期待したい。また、1 年高岡君はケガで欠場したが、けがを克服し戦列復帰を果たしトリオで頑張ってください。

5000m：11:00 には 35℃を超える過酷な条件でスタートした。昨年優勝の 4 年桂君、堅実な走りの 3 年平井君が出場。レースは暑さを考慮してかスローペースで進行。最後は平井君と一橋大高島君のラスト勝負となったが、あと一步のところで抜ききれず惜敗。桂君も猛烈なラストスパートで 3 位を確保した。駅伝はこの二人を中心にチーム編成がされると思われるが奮闘を期待する。

100m：持ちタイム 10 秒 61～10 秒 84 で誰が勝ってもおかしくない大接戦が予想された中、ランキング 6 位の一橋大浅沼君が自己新の 10 秒 78 で優勝。特に後半の伸びは実に素晴らしかった。関西インカレとともに自己新を出し期待された近藤君、喜多君は不調なのか 5 位と 6 位。奮起に期待する！

1500m：郷原、湯浅の 2 年生コンビが出場。レースは下馬評通り大市大矢守君が終始レースをコントロールし順当に優勝。郷原君は最後よく頑張って 4 位。

400m：47 秒台の記録を持つ大市大松本君の独壇場と思われたが、高柳君が最終コーナーで並び最後まで松本君を脅かし、惜敗ではあったが、自己新で 2 位を確保した。高柳君は今シーズン走るたびに自己記録を更新しており、秋のシーズン、来年に向け大いに期待できる。また、400m は 50 秒台の選手がひしめき合っており、誰が一步抜け出し 49 秒台に入るか楽しみは尽きない。

4×200m リレー：3 点のリードで迎えた最終種目。大市大は強かった。昨年出した大会記録をさらに上回り 1 分 25 秒 46 の素晴らしい大会新で優勝し、総合でもこの種目で 11 点をもぎ取り逆転優勝。一方で、一橋の猛追から逃げ切ることができた点は、今後につながるものだと思う。

ーフィールドの部ー

<跳躍>

走幅跳：やや向い風の中で競技が開始され 3 年金澤君、1 年高松君が出場。高松君は 7m17 の自己記録を持つが、入試のブランクからどれだけ復調しているかがキー。4 人が 7m を越える記録を持ち熾烈な争いが予想されたが、なかなか記録が伸びない。そんな中、高松君は心配をよそに 7m12 の好記録で優勝。金澤君も 5 位と奮闘した。

走高跳：3 年生コンビ小西君、金澤君が出場。小西君は 1m93 の自己新を達成し優勝。この記録は身長を 36cm も上回る驚異的な記録であり、素晴らしい！の一語に尽きる。また、この日 2 種目目の金澤君も 1m80 の自己新で 5 位を確保。棒高跳への期待が高まる。

棒高跳：この日 3 種目目の 3 年金澤君と 2 年西田君が出場。金澤君は自己記録を 20cm 上回る自己新を記録し上位にランクされていた一橋大中山君を破り初優勝。西田君も何とか記録を残し 4 位タイ。二人とも十種競技での今後の健闘を期待する。

<投擲>

円盤投：昨年優勝の 2 年高畑君と 4 年太田君が出場。二人とも今季に自己記録を更新しており大いに期待が膨らむ。高畑君は期待通り優勝したが、記録には本人も不満とのことでゆくゆくは 40m スロー出来る実力をつけてほしい。

やり投：最後の三商大戦となる 4 年太田君、西村君が出場。実力が抜きんでている一橋大田中君の牙城を崩すことは出来なかったが、西村君が 50m 台の自己新を出すなど健闘し 3、4 位を確保した。

砲丸投：やり投と同じメンバーが出場。なかなか記録が伸びない中、大市大の藤林君が“それいけいけ”と掛け声をかけ自己記録を 1m 近く更新し優勝。砲丸が大きな弧を描いて実によく飛んだ。

応援に駆けつけていただいた O B ・ O G の皆様ご声援ありがとうございました。酷暑の中、熱中症などもなく無事終えられたことを嬉しく思います。また、主管校として見事に大会を運営していただいた現役諸君の努力に敬意を表したいと思います。

以上